



FRANKLIN
TEMPLETON

フランクリン・ テンプルトンの 責任投資

ESG を考慮した運用アプローチ

フランクリン・テンプレトンの責任投資 更なる運用パフォーマンスの向上を目指して

ESGの視点を取り入れた 投資機会の評価とリスク管理

責任投資 (Responsible Investing) とは、投資の際に環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する重要な課題を考慮する包括的な運用アプローチを意味します。フランクリン テンプレトン (FT) では、すべての運用戦略において、ESG要因についての分析を運用プロセスに組み入れることにより、責任投資を実践しています。

FTは、運用プロセスにおいて、従来型の財務分析に加えて、ESG要因についての分析を行うことは、長期的な運用パフォーマンスの向上につながると考えています。

ファンダメンタルズ分析を行う際にESG要因についての分析を行うことで、投資対象の価値、リスク、および将来に亘って期待されるリターンについて、包括的な知見を得ることができると考えます。このような考え方にに基づき、FTでは全ての資産クラスおよび投資戦略においてESG分析を考慮することに取り組んでいます。

FTでは、ESG投資委員会および資産クラスごとのESGワーキンググループを設立し、グループ内におけるESG哲学を標準化しています。これにより、FTのグローバルに広がる専門性を活用しながら、各運用チームが一体となってESG要因を考慮した持続可能なリターンの創出を目指しています。



“従来のファンダメンタルズ分析に加えて、市場がまだ認識していない重要な知見につながるESG要因を特定することにより、ポートフォリオにおける持続可能なリターンの創出を目指しています。”

ジェニー・ジョンソン、社長兼最高執行責任者

FTの責任投資へのアプローチ

5つの特性



1. 厳格で卓越した運用

運用プロセスにおいては、徹底したESG分析が行われています。運用チームは、独自の調査や外部のデータなどを活用し、さまざまな知見を見出し、最高の投資アイデアの創出につなげています。

重要なESG要因を把握することにより、運用チームはより良い投資判断を行うことができると考えます。また、企業との対話や企業活動の継続的なモニタリングは、ESG分析において重要な役割を果たすと考えており、お客様の利益に沿った積極的な議決権行使を行っています。



2. 堅固なリスク管理

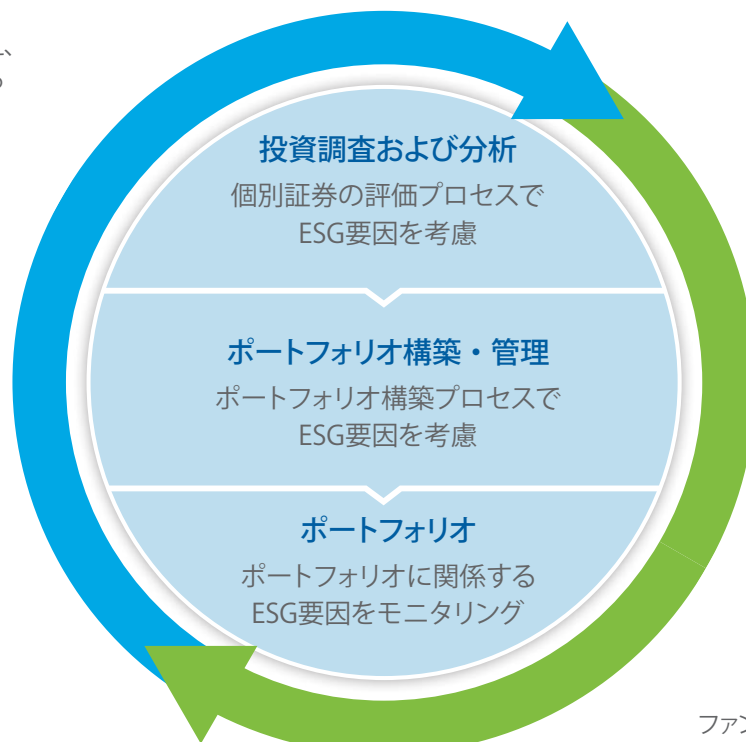
投資に伴うリスクを認識し、それを適切に管理することは、長期的なリターンの向上にとって重要です。FTIのリスク管理においては、ESG要因の重要性を認識し、伝統的なリスク指標に加えてESG要因も考慮したリスク管理を行っています。

実際のリスク管理においては、FTの独立したリスク管理部門であるインベストメント・リスク・マネージメント・グループが、専任のESGチームと緊密に協働し、リスクの観点からESG要因が各ポートフォリオに与える影響について分析します。ポートフォリオ・マネージャーとの定期的なレビューのなかでも、ESG要因はポートフォリオ・モニタリングやリスク管理において不可欠な要素となっています。

ESG要因を考慮した運用プロセス

専任のESGチーム

ESGの新たなテーマを捉え、運用に最も効果的と考えるESGへのアプローチを運用チームと共有



独立したリスク管理
ESG分析を組み入れた
ファンド評価とリスクレポート



5. 革新的なソリューションの提供

FTIは、お客様と緊密に協働することで、それぞれの投資ニーズに応じて、運用チームの専門性を活用した責任投資に関するソリューション提供を行っています。

ESGに関するソリューションの運用スタイルとしては、価値観主導型、ESGティルト型、テーマ型などからご要望に応じたESG戦略まで幅広く取り扱っています。この中には、インパクト投資ファンド、上場投資信託 (ETF)、インフラファンドなども含まれます。



価値観主導型

お客様の価値観に沿ったポートフォリオを構築し、倫理的・宗教的価値といった特定の基準に基づく投資を取り入れる、または除外する戦略です。



テーマ型投資

製品やサービスを通じて社会・環境問題に取り組む企業に着目した投資を行います。



ESGティルト型投資

ESGに関する取り組みを積極的に行う企業や、ESGの基準に改善がみられる企業へ投資します。



インパクト投資

目に見える形で社会や環境にプラスの効果をもたらすことを目的とした投資を行います。



重要事項

当資料は一般的な情報提供のみを目的としたものであり、個別の投資助言、または証券の売買、保有もしくは投資戦略の採用に関する推奨や勧誘を行うものではありません。また法律上、税務上の助言を行うものではありません。

当資料のなかで示した見解、コメント、意見、ならびに分析は、当資料作成時点のものであり、事前の通知なしに変更される可能性があります。当資料で提供された情報は、すべての国、地域、市場に関するすべての重大な事実に関する完全な分析を目的とするものではありません。**すべての投資はリスクを伴い、元本に損失が生じる可能性があります。**

当資料の作成には、第三者を情報源とするデータが使用されている可能性があります。フランクリン テンプルトン (FT) は当該データに関して独立した照合、検証、監査は行っていません。FTI は、本情報の利用によって生じたいかなる損失に対しても一切、責任を負いません。当資料のコメント、意見、分析に対する依拠に関しては、利用者の判断に基づくようお願い致します。

金融商品、サービス、情報はすべての管轄区域で入手可能ではありません。米国以外では、他のFT関連会社および/または現地法および規則が承認するその販売会社によって提供されます。個別の管轄区域における金融商品およびサービスの提供に関する詳細な情報については、専門家の助言を受けることをお勧めします。

ロゴは各所有者の登録商標であり、許諾を得て例示を目的として利用しています。

<当資料のお取扱いにおけるご注意>

- 当資料は説明資料としてフランクリン・テンプレトン（フランクリン・テンプレトン・リソーシズ・インクとその傘下の関連会社を含みます。）（以後：FT）が作成した資料をフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社が翻訳した資料です。
- 当資料は、FTが各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。
- 当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。
- この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利はMCAに帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。
- 当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。
- フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソーシズ・インク傘下の資産運用会社です。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン

商号：フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号
 加入協会： 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会



Please visit www.franklinresources.com to be directed to your local Franklin Templeton website.